



小出コミセンまつり

<第101号>

〒253-0006 茅ヶ崎市堤 1948 番地 1 ■Tel.&Fax. 0467-54-6525

■Eメール koidecommunity@jcom.home.ne.jp ■<https://koidecommunity.jimdofree.com/>



オープニングは
『北陽中吹奏楽部』



3年ぶりの夏まつり!

30周年記念 小出コミセンまつり開催

7月24日、感染症拡大防止のため中止となっていたコミセンまつりが、3年ぶりの開催となりました。時間の短縮や販売に制限がありましたが、多くの方々に訪れていただき、久しぶりにコミセンに賑やかな夏が戻って来ました。地域の方々のご協力により無事日程を終えることができました。ありがとうございました。



大抽選会。おめでとう〜



キッズコーナーで
“うちわ”の工作



北陽中美術部



初参加の新しいサークル

30周年記念小出コミセンまつり

福祉講演会(小出地区社会福祉協議会主催)

コグニサイズで脳トレと運動を楽しく
～間違ってもいいんだよ 間違ったら笑えばいいんだよ～!

講師 公益財団法人かながわ健康財団 健康運動指導士 茂木潤一さん



頭で考え体を動かすことを同時に行う「上手に出来ることが目的ではなく、間違ってもいいんだよ 間違ったら笑えばいいんだよ」というコグニサイズ。約50名の方々が熱心に参加され、笑顔あふれる実演会となりました。普段の生活で無理なく楽しく…小出版コグニサイズ浸透中です!



環境事業センター



交通整理の協力



中学生ボランティア



モルック大会(皆楽荘)

馴染みのない新しいスポーツなので、何人集まるか心配でしたが、ゲーム開始時刻には、予定通り二面コートを使っての個人戦、午後からは熱の入った団体戦も行われて大いに盛り上がりました。おばあさんとお孫さんが一緒にプレーをしている微笑ましい姿が印象的でした。参加者51名でした。世代を越えてを楽しめるスポーツなので、次回の開催を楽しみに待っています。



気象・防災情報の見方と使い方

6月12日(日) 13:30~

講師・気象予報士・防災士 平井信行さん

今や私達は、いっどこで何が起きてもおかしくない世界に直面しています。そこで、気象予報士・防災士の平井信行さんに、多くの災害現場を訪れ、見て感じた事を教訓に【気象情報】【防災情報】に係わる見方と使い方についてお話しをして頂きました。平井さんには7年前にも講演していただきましたが、今回も好評で、80名の方が受講しました。参加者の中には平井さんのファンと自称するお子さんもおおり、熱心に質問をしておりました。最近よく聞く『線状降水帯』『数十年に一度の〇〇』『警戒レベル』『防災アプリ』『避難』『命を守るには?』等々、クイズも取り入れて皆さんに分かりやすく説明して下さいました。災害に対する日頃の疑問点・防災の為に事前知っておくこと出来ること・いざという時の情報の取り方判断基準等について勉強し、最終的には"自分の命は自分で守る"ということを学びました。

今回の講座が、ご家族や近隣の方々との更なる話し合うきっかけとなり、防災・減災につながりますことを願っております。



小出コミセン30周年記念講座

絵本『しらすどん』講演会

7月2日(土) 13:30~



作者の最勝寺朋子さんは小田原市在住で、食育や海洋プラスチック問題に取り組んでおられて『しらすどん』が初の絵本出版です。当日は59名の親子が参加して下さいました。

普段何気なく食べているしらす。主人公のりょうくんは、しらすをどんぶりの中に1匹残してしまいます。するとりょうくんはみるみる小さくなりどんぶりにとり残されてしまい、りょうくんはどうなるのでしょうか・・・読み聞かせや『しらすどん』を作った課程、実際に取材をしたしらす魚の様子や、しらすの種類などクイズも織り交ぜて、楽しい講演会になりました。最勝寺さんも「たくさんの参加人数にびっくり!小学生とのかけ合いでのやり取りも楽しかった」とおっしゃって下さいました。

終了後は持参して下さった「しらすの抱きぐるみ」と写真を撮ったり、子どもたちとふれ合いました。次回作はニホンオオカミや犬を題材にした絵本を構想中だということです。そちらも楽しみにしたいと思います。

カンボジアの20年レポート

8月28日(日) 13:30~

講師・石子 貴久さん

茅ヶ崎市在住の石子貴久(いしこたかひさ)さんは現在40代前半ですが、学生時代に日本テレビの「電波少年」の番組企画でカンボジアのアンコールワットへ続く道89kmの舗装作業に参加しました。当時一番辛かったのは、満足に食べられないことでお腹が空いて、アリを食べたりしたこともあったそうです。

その後20年間カンボジアを頻りに訪れ、民話の聞き取り、絵本の作成、現地スタディツアーなどを通して途上国の教育支援に携わってきました。活動を通して見てきた発展途上国の光(アンコールワット遺跡群)と陰(ポルポト、貧困、環境汚染)、そして主要メディアがあまり語らないグレーな真実(中国・北朝鮮の影響、劇団化する孤児院、先生のブラックな副業)などなどを、バラエティー豊かに語っていただきました。コロナ禍でなかなか渡航がままならない状況ですが、来春には新しい絵本を携えてカンボジアを訪問したい。一方的な援助ではなく、カンボジアと日本の接着剤としてアイデアを振り絞って面白い企画を考えて行きたい、と熱く語っていたのが印象的でした。



30周年記念行事まだまだ続きます

オープン・ザ・コミセン(サークル公開)のご案内 10月1日(土)～28日(金)

小出地区コミュニティセンターは今年開館30周年を迎えました。コミセンではたくさんのサークルが活動しております。10月1日から1か月間をオープン・ザ・コミセン月間と定めて各サークルの日頃の活動の様子を皆様方にご覧いただくこととその様子を公開します。この機会に今までコミセンに足を運ばれたことのない方も是非気軽に覗いてみてください。これからもコミセンが地域の交流の場になり続けられるよう頑張っていきます。

多数の皆様のご来館をお待ちしています！！

これからの主な予定

◆寄席で大笑い・・・9月25日(日) ①11:00～ ②13:30～

ちょいと、おじゃましまーす！古今亭菊千代でーす。手話落語会や子どものための落語教室を開催し、ブラジルやアルゼンチン、世界に落語の楽しさを発信してきました。“銀座カンカン娘”の出囃子にのって登場します。

◆グラウンドゴルフ・モルック教室・・・11月19日(土) 9:30～

グラウンドゴルフも7年目。今年5月から新しくモルックの競技が始まりました。「コミセンまつり」でのモルック大会も盛況でした。お誘いあわせの上ご参加下さい。

◆クリスマスコンサート・・・12月18日(日)

「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマに、ピアノとヴァイオリンのデュオ『スギテツ』さん

◆小学1・2年生対象の「おはなし会」・・・毎月第3木曜日 15:00～

未就学児も親子で一緒に参加出来ます

◆冬のお楽しみ会「プラネタリウム～冬の星空～」・・・12月10日(土)

星空を天井に映し、星の勉強をします

各行事の詳細は回覧でお知らせします



20周年記念のコミセンまつりで、10年後の自分にはがきを送ろうという企画がありました。今回30周年記念のコミセンまつりで、コミセンで保管していたはがきを送り主に投函し、届いたはがきを持参していただければ景品をお渡しするというコーナーを設けました。10年前、両親に抱かれ0歳で参加していた子が10歳の小学5年生になり、母親が書いたはがきを持ってきてくれました。また、コミセンまつりで当時小学生でお手伝いをしてくれた子の母親が、本人は小出を離れており、届いたはがきを見てあまりの驚きと感激で涙が止まらなかったと話してくれました。素敵な思い出をありがとうございますとお礼をいただきました。コミセンを通して、またこのような企画を地域の皆様に届けられたらと思います。